

事業所名

こども通所支援サービスじりつ3

支援プログラム

作成日

7

年

7

月

9

日

法人（事業所）理念		じりつを利用する全てのお子さま個々に応じた「じりつ」を目指していきます。					
支援方針		子どもの自立支援：子どもたちが自立し、社会性を育むためのプログラムを提供します。 ・個別支援：一人ひとりの子どものニーズに応じた支援を行います。・家庭との連携：保護者との連携を大切にし、家庭でのストレスを軽減します。 ・遊びを通じた学び：遊びを通じて学びや発達を促進します。・季節感のある活動：季節ごとのイベントや活動を通じて、子どもたちの経験を豊かにします					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・心身の健康状態を把握し、必要な支援を行います。 ・睡眠、食事、排泄などの状態を把握し、必要な支援を行います。 ・基本的な生活スキルの状態を把握し、必要な支援を行います。 ・必要に応じて、空間の構造化、手順の構造化などの支援を行います。					
	運動・感覚	・姿勢の維持を把握し、ちからを高めるための支援を行います。 ・自力での移動のちから高められるよう、事業所内や事業所外での移動の様子を把握し、必要な助言・支援を行います。 ・触覚への過敏さがあり防衛的に反応する場合は、触覚を識別的に働かせるちからを高めるための支援を行います。 ・様々な姿勢保持や、身のこなし、力加減を要する課題に取り組んでいただき、自己制御のちからを高めます。					
	認知・行動	・視覚、聴覚、触覚、固有覚、前庭覚などの感覚刺激を適切に処理し、適切に反応する、認知機能の発達を促す支援します。 ・得られた情報をもとに、適切な行動をとるちからを高める支援します。 ・概念形成を促し、それらを手がかりとして活用できるよう支援します。					
	言語 コミュニケーション	・活動や遊びの中での、コミュニケーションのご様子を見守りながら、必要な助言を行います。 ・あそびの中で、場面設定や役割設定をすることで、まわりの人とやりとりを促し、コミュニケーション能力を高める支援を行います。 ・ご本人の特性に配慮しながら、読み書きの能力を高めるために必要な支援を行います。					
	人間関係 社会性	・大人との信頼関係を築いていただき、安心して過ごしていただけるよう支援します。 ・感覚機能を使った活動やあそびや、ごっこ遊びなどの象徴あそびができるよう、環境設定も含めた支援をします。 ・一人あそび、並行あそび、大人が介入して行う連合あそび、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同あそびなどを通して、社会性の発達の支援をする。 ・自分の得意な事や苦手なことなどの自己理解を促し、自己肯定感・自己効力感を高め、状況に応じて柔軟に穏やかに行動できるちからを高められるよう支援します。					

家族支援	・毎回ご利用時に、連絡帳でやりとりします。 ・個別支援計画作成時のご要望の確認や計画説明をします。 ・必要に応じて、面談や電話やラインなどで、ご家族からのご要望をうかがったり、お困りごとのご相談をうかがったりし、必要な助言・支援をします。 ・病院受診時などに、ご要望に応じて、情報提供書を作成します。	移行支援	・じりつを卒業される際に、ひきつぎのサービス担当学会議に参加し、口頭や必要に応じてアセスメントシートや支援内容、最終のモニタリングの結果、もしくは情報提供書などで情報提供します。 ・地域社会へ移行していくために、必要なスキルの獲得支援をします。
地域支援・地域連携	・定期的なサービス担当学会議への参加および情報提供。 ・学校や児童クラブ、支援機関への情報提供。	職員の質の向上	・社内での研修実施。 ・外部研修への参加及びフィードバック研修の実施。
主な行事等	春休みおたのしみ会 夏休みのおたのしみ会 冬休みおたのしみ会		